

看護闘争ニュース

NO. 91

2006年12月21日

石川県医労連

看護師確保で自共提案の意見書採択

石川県議会の12月議会において、自民党、共産党から提案された「看護職員の確保対策の充実強化に関する意見書」を、一本化したうえで12月15日に可決されました。

県看護協会も、看護師確保の意見書自体が県議会で可決されるにいたって、医労連が尽力したことに対し共感の意を示しました。

看護職員の確保対策の充実強化に関する意見書

『第6次看護職員需給見通し』では、5年後の2010年に1万6000人が不足...。今回の新設の看護区分の運用について、当分の間、特に手厚い看護を必要とする病棟単位の算定方式を導入するなど、看護師の需給動向に十分配慮した見直しを早急に行なう必要がある。...

また、国がさし示した医療制度改革を実現するためには、急性期医療の手厚い看護配置や、療養病床での人員配置引き上げ、在宅医療における看護のマンパワーなど、すべての看護実践現場において、確実な知識と技術に基づいた水準の高い実践能力を有する看護労働力の確保が不可欠である。...地域における看護職員が十分に確保されるよう、各種対策の充実強化に努められるよう強く要望する。

看護師等増員の国会決議あがる

「安心で行き届いた医療は国民の願いである。看護師を始めとした医療従事者を増やすこと」の国会決議があがりました。

民医連が署名にもとづいて請願していたものです。

国会内で「看護師不足」が世論として醸成しつつあるといえます。来春、さらに大きな社会問題にして、その改善策として日本医労連が提案している「看護師確保法・基本指針」

「需給見通し」の見直しに連動させていくことが重要になっています。



雪舞う北海道でも奮闘中！

2007年春 看護要求実現全国交流集会

2007年2月8日(木)~9日(金)

熱海市「後楽園ホテル」

「看護・増員・生活

やめない職場づくりをめざして」

記念講演

「増員の時代に

あらためて問われる看護」

川島みどり氏(日赤看護大学教授)

勤医労 FAX ニュース

2006年12月6日

発行 北海道勤医労

札幌市東区北9条東1丁目労働センター1階
TEL 011-721-3439 FAX 011-702-4480
kin0901@seagreen.ocn.ne.jp

苫小牧支部

「医師・看護師等の大幅増員を求める請願」

12月議会では今度こそ採択させる！

60の病院
訪問へ

苫小牧病院支部では苫小牧市議会への「安全・安心の医療と看護・介護の実現のために、医師・看護師等の大幅増員を求める請願」を提出し、9月の定例議会で佐々木一枝執行委員長が趣旨説明を行い、継続審議となっています。

そこで「12月定例議会で今度こそ採択させる」と、11月9日の産別統一行動では18ヶ所の地域医療機関訪問を行い、請願への賛同行動を行いました。現在5つの病院から賛同署名が返ってきています。支部では看護・介護闘争委員会を立ち上げ、ニュースを発行して「採択をめざそう！」と呼びかけ、残りの約60ヶ所の地域医療機関を訪問しようと、12月6日、8日、11日、13日の連日行動を予定しています。

12月14日(木)10時から、苫小牧市議会厚生委員会で審議されます。

「看護師ふやせ」署名の紹介議員に 民主党・小川勝也参議院議員

12月5日(火)、勤医労では教育基本法「改悪」法案廃案の要請と合わせ、看護職員等の大幅増員を求める要請を行いました。北海道選出の民主党・小川勝也、峰崎直樹、共産党・紙智子参議院議員事務所を訪問。議員は不在で秘書や事務所の方の対応でしたが、小川事務所では「看護師さんたちも大変ですね」と対話になりました。また、紙事務所では「佐呂間の竜巻被害で近隣の病院が連携して救急対応にあたり地域医療の重要性を実感している」「地方の医療機関で医師・看護職員の確保困難で悲痛な声を聞いている」と話されました。

訪問した日の夕方、早速小川事務所から「増員署名の紹介議員になります」と連絡があり、訪問した一同は大喜び。「医師・看護師ふやせの運動」が広がる可能性とともに、私たちの取り組んでいる署名の力を発揮させるためにも政治に無関心でいられないと感じました。(ちなみに紙智子議員は紹介議員です。)



要請に応じる小川勝也事務所

定例 看護師ふやせ宣伝

12月8日(金)13:00

パルコ前に集合!



集合 SEINENBU
クリスマスパーティ
12月9日(土)19:00~ カフェ・ド・ビズ・キューブ
詳しいことは各支部青年部へ。みんなの参加を待ってます。